

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管項目	総務	局	行政	部	行革推進	課
2-23	新しい公共ガバナンスの推進					
実施内容	行政だけでなく、市民、NPO法人、企業など多様な主体が、それぞれの強みを活かしながら協働して「公共」を支えていく行政運営への転換を図り、それら多様な主体の知見や提案を取り入れ、新しい仕組みや制度づくりも視野に入れながら議論を行う「新しい公共ガバナンス推進会議」を開催。市民サービスの向上、市民参画の進展、地域経済の活性化及び行政コストの改善をめざす。					
目標	毎年度、複数のテーマを対象に会議を開催し、そこで得られた知見や提案に基づき、行政サービスの改善や多様な主体の連携・協働による新しい取組やサービスの創出を促進する。 (平成28年度追記)					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
	進捗状況 (実績・見込)	26年度	27年度	28年度	29年度	
数値目標	-	見込	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
実績	28年度	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい公共ガバナンス推進会議」の対象テーマを決定（4月）し、同会議を開催（8月） 同会議における意見等を整理し、今後の取組方針を行革推進本部において決定（10月） 				
単年度の 効果額見込 及び実績	-	見込	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
評価	28年度	B	課題	会議で出された意見・提案を整理し、多様な主体の協働による新たな取組みを、可能なものから段階的に実施していく必要がある。		
			改善策	新たな取組みの具体化や、取組みによってどのような効果やメリットを生みだすことができるのかなど、さらに深掘りした議論を行うとともに、具体的な取組みの実施に向けたロードマップの作成を行う。		
評価基準		A: 目標を上回って達成 B: 目標を概ね達成 C: 未達成				
備考						